

施策評価シート

対象事業年度 平成 26 年度

施策2

政策	I グローバルロジスティクス・ものづくりの港(国際産業戦略港湾)	施策推進責任者	建設部長・企画調整室長・港営部長
施策	2 産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	船会社、港湾運送事業者、荷主	意図(どういう状態にしたいのか)	充実した道路ネットワークや臨海部の企業進出用地整備により、既存産業の高度化や新展開、新たな基幹産業の創出を促進し、高い国際競争力をもった新たなものづくりの基盤を形成する港	
	サービスの対象物(何を)	道路ネットワーク(臨港道路・広域道路)や臨海部における企業進出用地(物流・産業用地)など			
展開①	臨港道路の整備等による物流効率化やアクセスの向上 名古屋港内の渋滞緩和や背後地域とのアクセス強化を図るため、臨港道路の整備や交差点改良を行い、広域幹線道路網の整備を促進します。陸上輸送の大動脈や航空輸送と接続する名古屋港の強みを活かし、更なる物流の効率性や安全性の向上をめざします。	展開②	物流企業用地の確保やものづくり産業用地の拡充 物流企業が進出できる用地を整備、分譲し、物流機能の集積を推進します。また、ものづくり産業の生産機能強化等の土地需要に対応するため、産業用地の拡充を促進します。	展開③	企業立地の促進による創貨 企業の立地状況やニーズ等を把握し、企業立地を推進する自治体へ名古屋港の利用促進につながるPRや情報提供を行うとともに、名古屋港管理組合から企業を対象とした情報提供を行い、企業立地の促進による創貨を図ります。

2. Do(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名(担当課名)	指標名【指標型】	24年度	25年度	26年度	26年度の状況	26年度実施事業に基づく評価結果				
			上段:指標 目標値	中段:指標 実績値	下段:事業費(単年度・人件費込・国費除く)		目標値	27年度以降の方向性		事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等	
								成果	コスト		
<b>【展開①】臨港道路の整備等による物流効率化やアクセスの向上</b>											
施02事101	鍋田ふ頭道路(進入)整備事業(事業担当)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	-	-	89.9%	100%(累計)	順調	継続	維持	維持	・平成27年度の完了に向けて、着実に整備を推進する必要があるため。
			74.4%	82.8%	89.9%	27年度完了			取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
施02事102	飛島ふ頭道路(改良)整備事業(事業担当)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	-	-	55.8%	100%(累計)	順調	継続	維持	維持	・平成28年度の完了に向けて、着実に整備を推進する必要があるため。
			3.8%	18.1%	60.6%	28年度完了			取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
<b>【展開②】物流企業用地の確保やものづくり産業用地の拡充</b>											
施02事201	西部地区(第1貯木場)都市機能等用地整備事業(管理課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	-	-	99.4%	100%(累計)	順調	継続	維持	維持	・平成27年度分譲開始に向け、着実に整備を推進する必要があるため。
			94.9%	97.1%	99.4%	27年度完了			取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
施02事202	西部地区(第2貯木場)都市機能等用地整備事業(管理課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	-	-	87.1%	100%(累計)	順調	継続	維持	維持	・平成27年度分譲開始に向け、着実に整備を推進する必要があるため。
			77.0%	78.3%	87.1%	27年度完了			取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
施02事203	西部地区(第1・2貯木場)埋立地の売却(管理課)	売却公募までの準備状況(全4工程)【進行管理型】	-	-	1工程	4工程(累計)	順調	継続	維持	維持	・平成26年度まで土地需要等に関する情報収集を行い、平成27年度に、残りの3工程(区画割、募集要項の作成、売却公募)を行う予定であるため。
			1工程	1工程	1工程	27年度完了			取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
<b>【展開③】企業立地の促進による創貨</b>											
施02事301	名古屋港背後地域への企業誘致(誘致推進課)	企業立地などを目的としたセミナー等にて名古屋港のPR活動を行った回数【単年度管理型】	-	-	4回	4回	目標値どおり	継続	維持	維持	・企業誘致のため関係機関と連携し、より効率的で効果的なPR活動を検討しながら進める必要があるため。
			3回	4回	4回				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
		施策コスト(合計)千円	1,257,503千円	1,241,255千円	1,466,888千円						

3. CHECK(成果目標の状況・26年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等	年	24年度	25年度	26年度	目標値[30年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
企業立地面積(第1・2貯木場埋立地)	(仮目標値)**	ha	-	-	-	20	・企業立地面積(第1・2貯木場埋立地)については、整備完了後(平成27年度)から目標値に向かって企業立地を進めていきます。
	実績	ha	整備中	整備中	整備中		
臨港道路整備延長	(仮目標値)**	km	-	-	(3.1)	5.0 <sup>注</sup>	・臨港道路の整備延長は、鍋田進入道路(2期線)及び飛島ふ頭道路の改良が順調に進んだことにより、仮目標値をほぼ達成しました。今後も平成28年度の目標に向かって整備を進めていきます。
	実績	km	-	2.1	3.0		

注:臨港道路整備延長は、28年度を目標年次としております。

\*\* 仮目標値 = 指標設定時の値(平成25年度) + 目標値(平成30年度) - 指標設定時の値(平成25年度) / 5年間(政策体系期間)

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?) (見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)	適正・見直しが必要
--	-----------

4. ACTION(課題・27年度以降の取組方針)

26年度に取り組んだ内容	課題	27年度以降の取組方針
<p>【展開①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鍋田ふ頭進入道路(2期線)は、橋梁上部工を行いました。</li> <li>・飛島ふ頭道路の改良は、集中管理ゲート西側道路(平成27年3月供用開始)等の整備を行いました。</li> </ul>	<p>【展開①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鍋田ふ頭進入道路(2期線)・飛島ふ頭道路の改良は、着実に整備を推進する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍋田ふ頭進入道路(2期線)は平成27年度、飛島ふ頭道路の改良は平成28年度の完了に向けて、着実に整備を推進していきます。</li> </ul>
<p>【展開②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1、第2貯木場の基盤整備(道路整備、排水管の敷設など)を行いました。</li> </ul>	<p>【展開②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度分譲開始に向け基盤整備(給水管の敷設や周辺道路の整備など)を行うと共に売却公募に向け各種作業(区画割、募集要項の作成など)を進めていく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度分譲開始に向け基盤整備を完了させ、売却公募を行っていきます。</li> </ul>
<p>【展開③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I-BACの実施する外資系ネットワーク懇談会や、愛知県産業立地推進協議会が実施する東京セミナー、産業立地キャラバンへの事業協力を行いました。</li> <li>・本組合独自の取組として静岡県内、長野県内、岐阜県内及び滋賀県内の企業誘致を推進する市町村に対し、名古屋港のPR活動を実施しました。</li> </ul>	<p>【展開③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋港及び背後地域への立地を促進するため、継続的に情報提供を行い、名古屋港の認知度をより高める必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、関係機関と連携し、名古屋港背後圏への企業進出意欲の向上を図るとともに、企業誘致を推進する自治体等に対するさらなる名古屋港のPRや企業進出ニーズの把握を行っていきます。</li> </ul>